

北海道・東北沖の地震のサイズ分布（b値）の分布

令和7年（2025年）12月09日

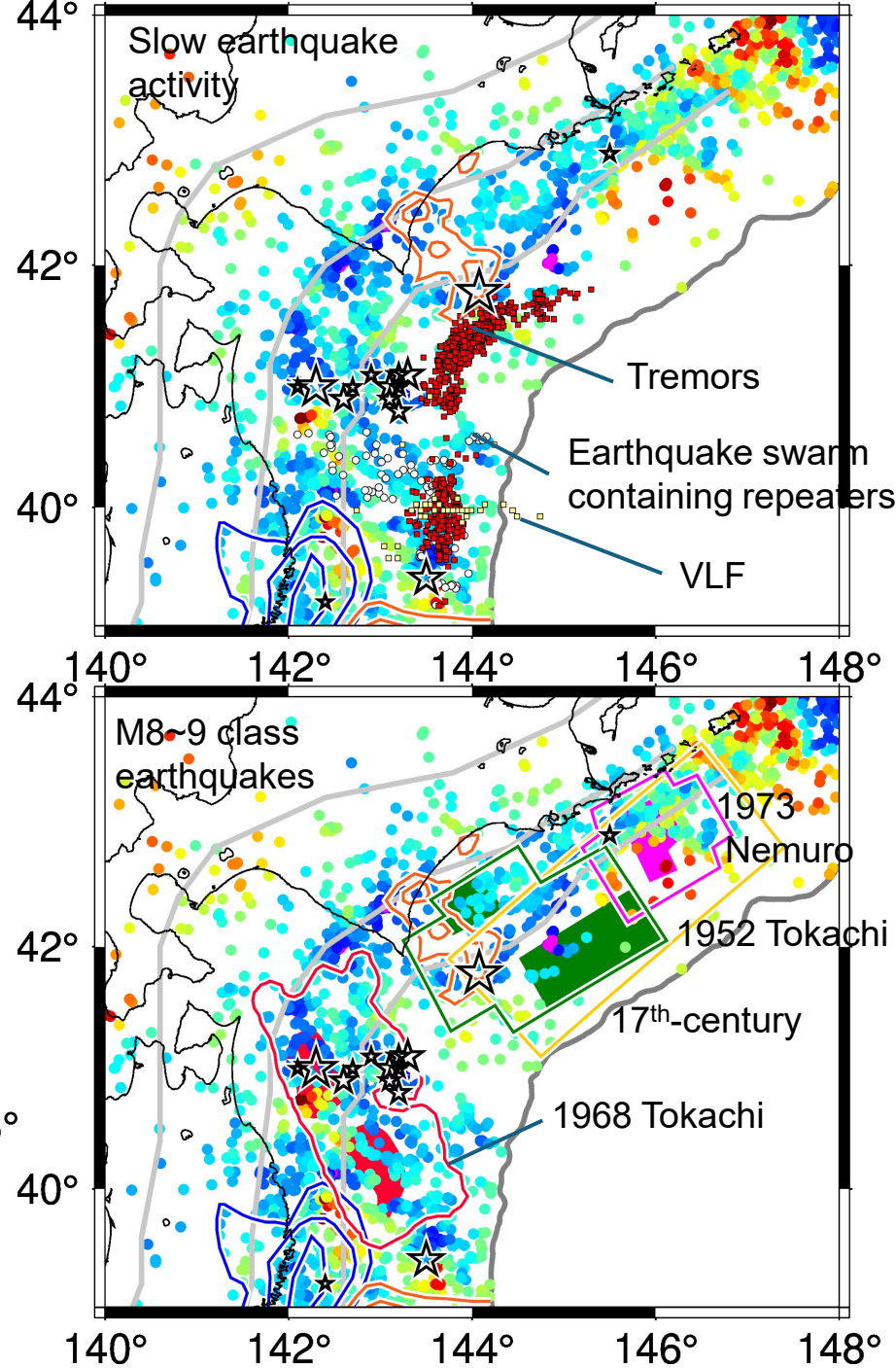
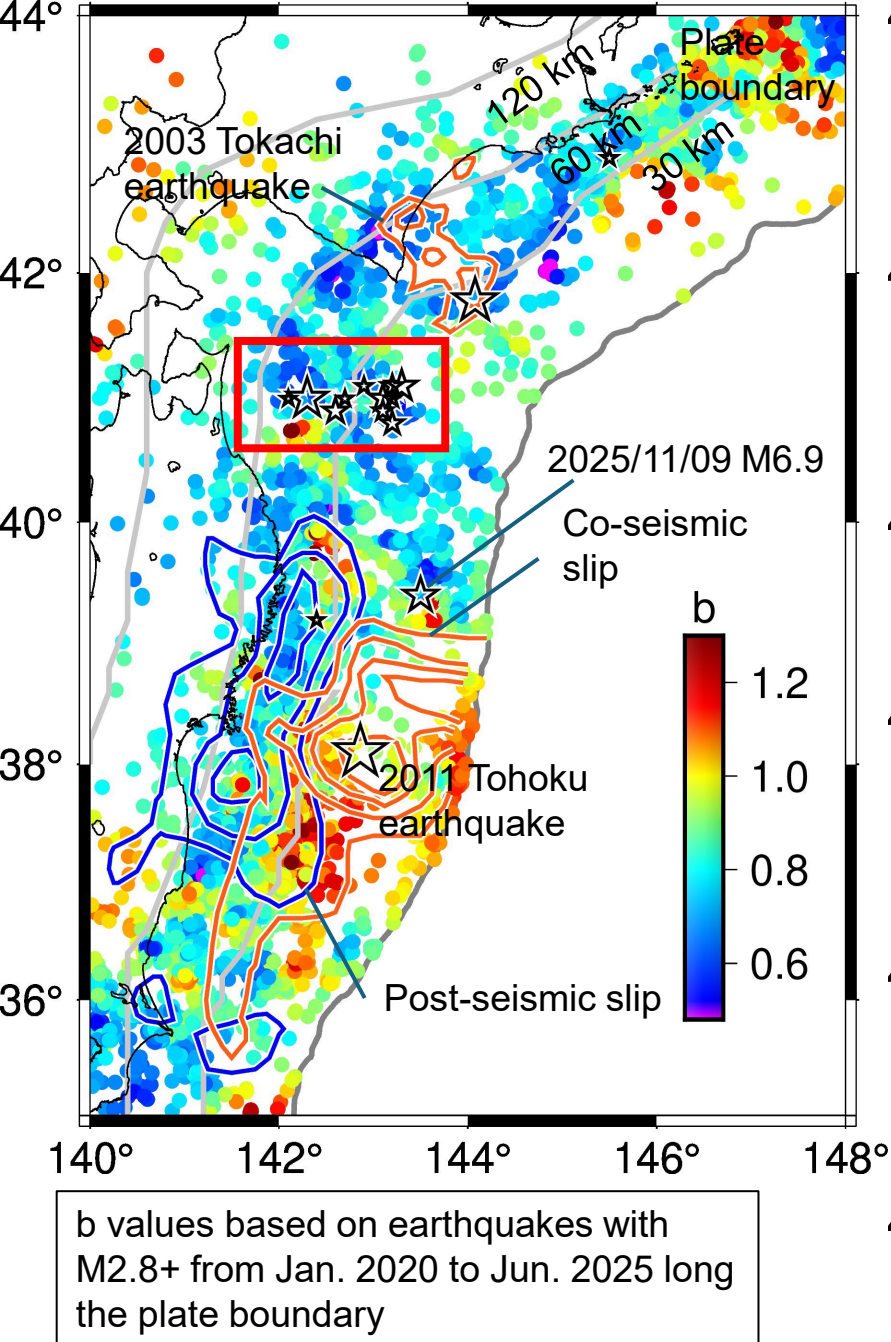


国立研究開発法人 海洋研究開発機構



静岡県立大学 グローバル地域センター

Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka



北海道・東北沖の地震のサイズ分布 (b値) の分布

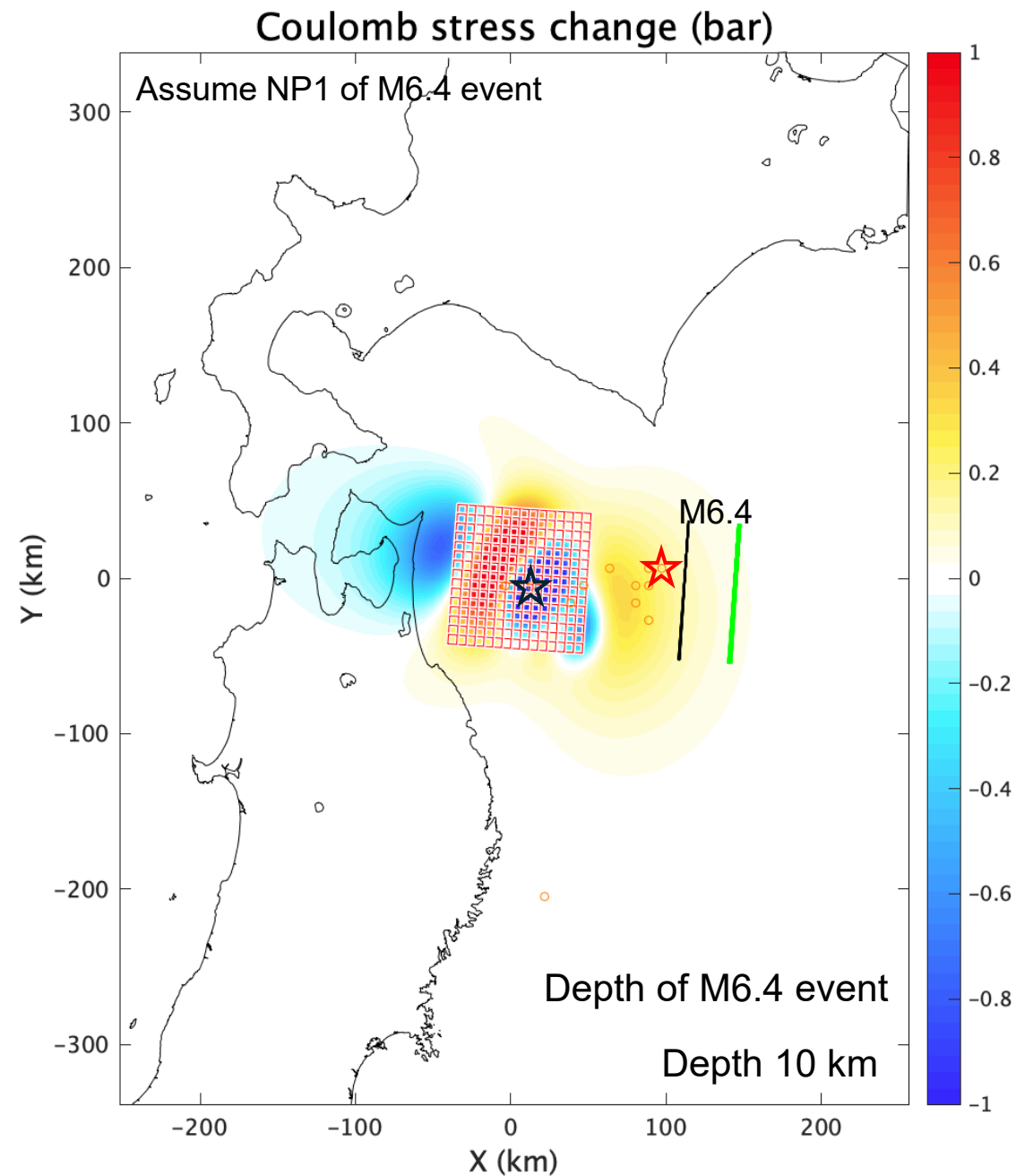
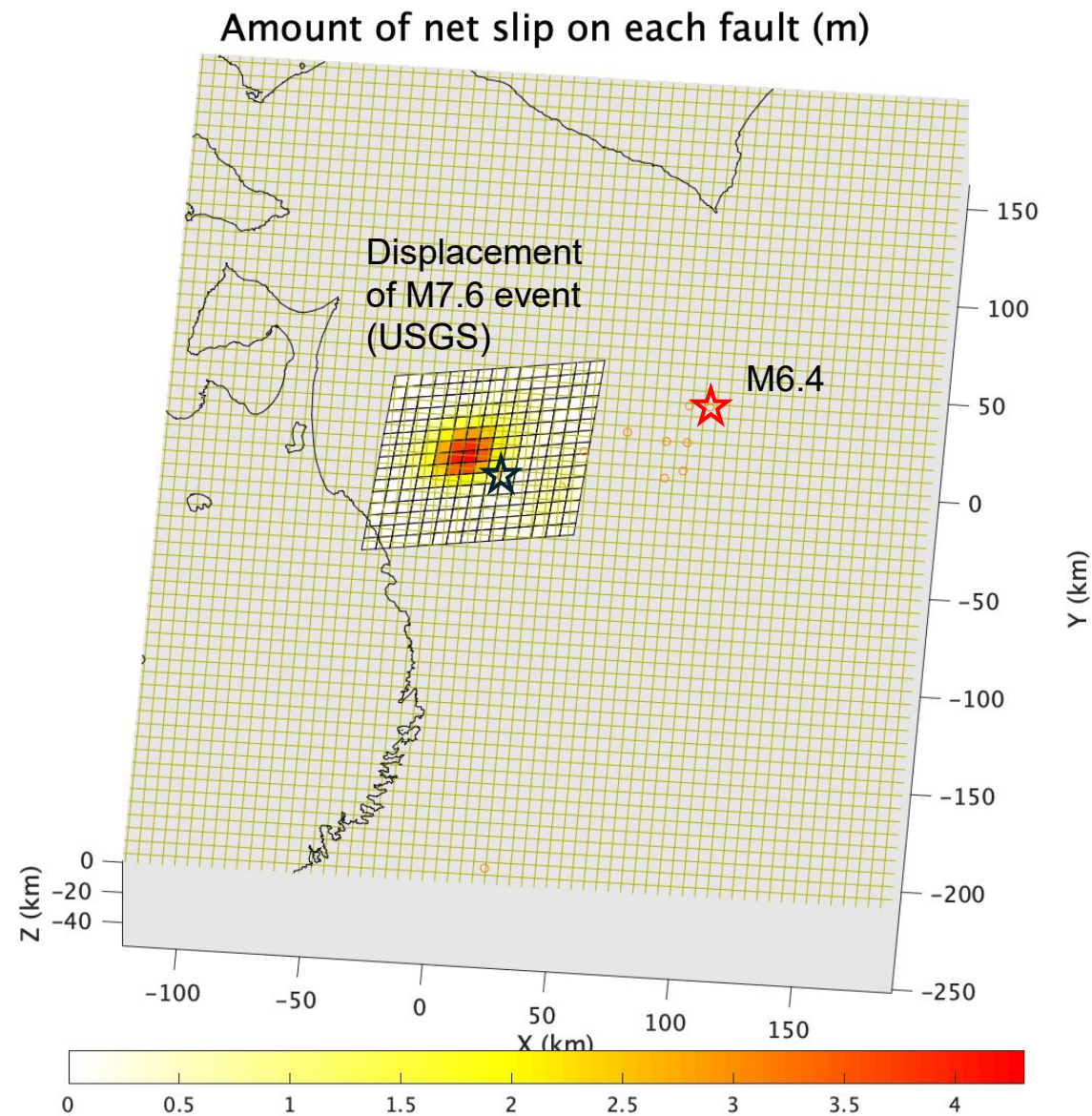
- 千島海溝から日本海溝にかけてのb値の分布 (2020/1/1~2025/6/22のデータ)¹⁾。
- 2003年十勝沖震源域の東側の、1952年十勝沖地震で滑りの大きかった場所(■)²⁾付近のb値が特に低く、0.5程度が継続。
- 1968年十勝沖地震ならびに1994年三陸はるか沖地震の震源域³⁾のb値も低い値(0.6程度)。
- 2025年11月9日にM6.9が発生した場所(★)は、1968年・1994年の震源域の南東側に隣接しており、b値も同程度に低い値を示していた。
- 2025年12月8日のM7.5やその後の地震(□内の★)も、b値の低かった領域内で発生。
- 引き続き、b値の低い領域での地震やゆっくり滑りの時空間変化を注視する必要。

1) Nanjo, Hori and Iwata (in press, Communications Earth & Environment, <https://doi.org/10.48550/arXiv.2507.21478>).

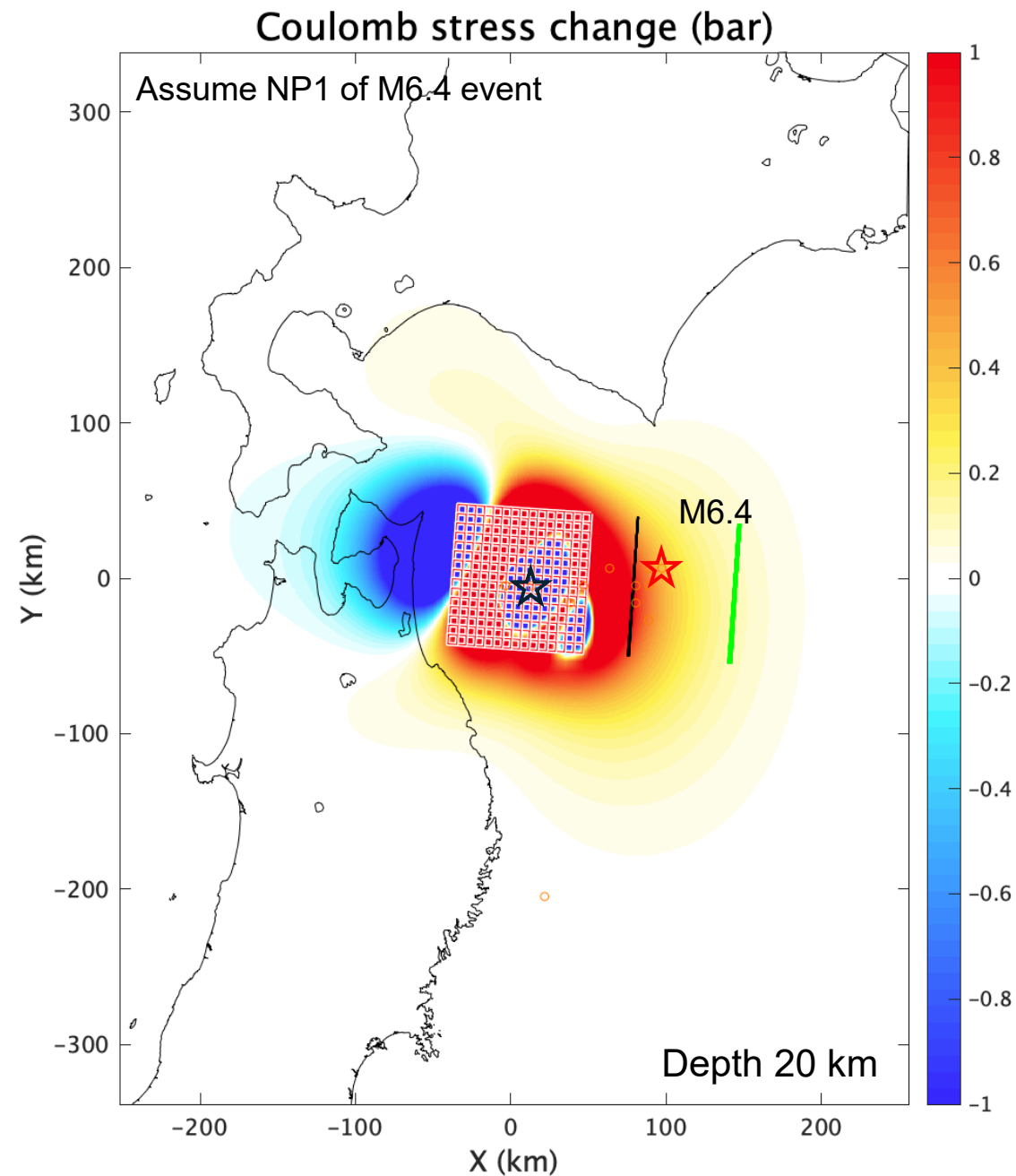
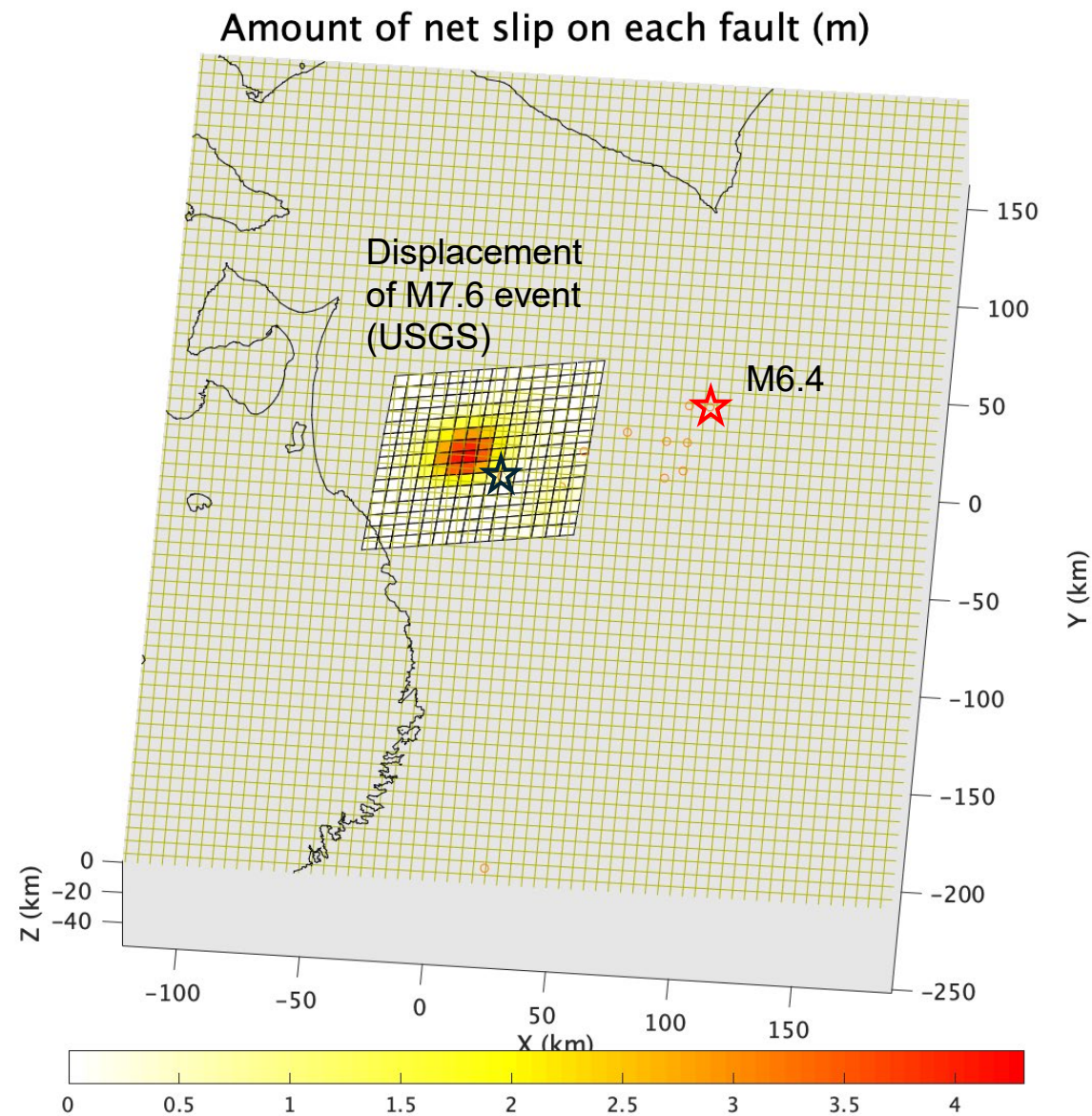
2) Hirata et al. (2003, JGR, <https://doi.org/10.1029/2002JB001976>).

3) Yamanaka et al. (2004, JGR, <https://doi.org/10.1029/2003JB002683>).

地震時の滑りによるCFF変化



地震時の滑りによるCFF変化



地震時の滑りによるCFF変化

